

4月セミナーを4月20日(土) 13:30~15:30に開催しました。

会場 愛知文教大学 201教室

テーマ 「深い学びに向けた授業づくり・学級づくり」

授業者 小牧市立小牧小学校 城 沙侑璃先生

コメンター 学び合う学び研究所事務長 永井 勝彦先生

本日のセミナーで学んだ中で重要だと思ったことは、文学教材の読みとはどういうことか問うことです。

文学教材の読みは容易ではありません。まして、深い学びを実現するのは。

結果として深い学びに至った授業を何度も見ましたが、同じ授業者が別の授業では深まるどころまで行かなかった例も少なくありませんでした。

子どもたち一人ひとりの読みのレベルもありますが、うまく追究に向かう場面とそうでない場面が、授業中には何度も出てきます。「読み味わう」ことを大事にすれば、授業者が引っ張りすぎないことに注意していれば、子どもたちによる軌道修正が出てくるものだと考えています。

本時で言えば、「村一番の漁師」と「一人前の漁師」の部分。比較して評価する(される)ような部分が続きましたが、さらに本気で読めば「一人前の漁師とおとう」の関係を読み取る子ども(の発言)が(全員でなくても)出てくるはずです。それが多くの子どもの納得につながるかは、また別の問題ですが。

城先生の今後の(子どもの発言を楽しみながら)読み味わう文学の授業に期待します。

本日のセミナーで学んだ中で重要だと思ったことは、学び合う学びの根本は、一人残らず子どもを大切にすることです。

一人残らずどの子ども大切にされている先生であり、児童だなと感じました。だから、安心して聴き合えるし、たくさんの考えが出るのだと思います。学び合いの根本はそこだと思い、改めて我が身を振り返りました。ありがとうございます。

文学の授業への考え方は様々なのではないのでしょうか?読み味わうという言葉の捉え方も一つではないように思います。その上での私の考える「読み味わう」は言葉一つ一つを飲み込み、なめるように感じるのだと、生徒たちにも話しています。中一から受け持って二年。やっと最近、生徒たちが「ここがいいなと感じた」とか「せつないな」とか「このしみじみさもいいな」とかという言葉で、自分の読みを作ってくれるようになりました。その感じ方がひとそれぞれで、だからこそ、違う感覚を味わえて生徒たちは楽しいようです。へえ、そんなふうに感じるんだ、そうも読めるよねえ という発見を生徒たちはたくさん教えてくれます。私はそれが楽しくて。国語教員の醍醐味ですよね。

今日、拝見した授業で、私は2番さんの「おとうはそこにいる おとうに会えた」の言葉に感動しました。彼女は彼女の世界を読み描いているのではないのでしょうか?理屈ではなく、彼女の脳裏に、おとうと出会っている太一がいたのだと。なんて素敵な読みでしょう。読み味わうとは読み描くことなんだな、2番さんには太一のようにおとうが見えているんだなと思うと感動でした。読みの味わい深さを教えてもらえました。ありがとうございます。

本日のセミナーで学んだ中で重要だと思ったことは、音読の大切さです。

児童達の集中力の高さ、一文一文にこだわり一生懸命考え続ける姿に感動しました。確かな学級経営に裏付けされた授業の姿であると思いました。

授業のはじめに「気になるところ、引っかかるところ」を出し、論点としましたが、もう6年生ですから「みんなで深めたいところ、他の人の考えが聴きたいところ」としてもよいのではと思いました。

要所要所に音読やグループを入れることで、少しずつ深まっていきましたが、論議にあったように、音読は「点で読まず、面で読む」という意見はなるほどと思いました。

グループで聴き合いたい場面がいくつかあったように思います。特に後半は、やや教師と児童のやり取りが多く感じられたので、グループでの聴き合いをもとに、他のグループの考えを聴き合うなど、児童同士が自分たちでつなぎ合うように指導すると、また大きな展開が生まれるのではと思いました。児童に委ねる場面を意図的に作れば、ますます自由で思いもかけない読みが生まれるのではないのでしょうか。そんなワクワクするような期待が持てる授業でした。ありがとうございました。

本日のセミナーで学んだ中で重要だと思ったことは、聴く・つなぐ・もどす・立ち止まる、つっこむことです。

国語の授業があまりよくわからず、去年は城先生の国語の授業を何度も見させていただき学ばせてもらいました。今日のセミナーに参加して、音読を関係する一文ではなくもっと前の場面から面で読むということの大切さを知りました。どこを読ませたらより深まるのかを考え音読させることがとても難しいと感じました。また、まず分からないところから授業を進めていき、教師が聴く・つなぐ・もどす・立ち止まる、つっこむという働きをすることが改めて重要だと思いました。月曜日の授業からより意識して取り組んでいきたいです。

本日のセミナーで学んだ中で重要だと思ったことは、授業者が一步納得のいかなかった授業を取り上げてくることの大切さです。

とても難しい内容の授業が取り上げられていました。ご自身も今一步納得がいかなかったという授業への疑問を大切にしておられる姿勢は素晴らしいと感じます。疑問が持てるということは、さらに進化していけるチャンスを手にかけているということになると思います。あのような時間を過ごす中から、自分自身もいろいろと考えさせられる場面がありました。今求められる授業をどう「学び合う学び」とつなげていくのか？ここから、もう一度「学び合う学び」について、考えていこうと思いました。いい時間を与えていただいたことを感謝します。